



kanto 148

2022.12.10

語彙指導に活かす認知神経科学の知識

日時・場所

期 日	2022年12月10日(土曜日) 10:00 ~ 17:45	
会 場	オンライン (Zoom / oVice)	
時 程	10:00 ~ 12:00	ワークショップ
	12:00 ~ 13:00	賛助会員展示 (oVice にて)
	13:00 ~ 13:15	開会の挨拶 LET 関東支部賞授賞式
	13:20 ~ 13:50	研究発表・実践報告
	13:55 ~ 14:05	賛助会員発表
	14:10 ~ 14:40	研究発表・実践報告
	14:45 ~ 14:55	賛助会員発表
	15:00 ~ 15:30	研究発表・実践報告
	15:40 ~ 17:40	基調講演 講師：秋元頼孝 (長岡技術科学大学)
	17:40 ~ 17:45	閉会
	17:45 ~ 18:15	発表予備枠

※ 機器トラブルなどにより予定の時間に発表ができなかった場合は「発表予備枠」にて実施します。
詳細はイベントスケジュールをご覧ください。

記

主 催 外国語教育メディア学会 (LET) 関東支部

LET 関東支部事務局

〒350-0248 埼玉県坂戸市けやき台 1-1
城西大学 語学教育センター内 (鬼頭 和也)

電 話： 049-271-7652

E-mail： kanto-office@j-let.org

「AI 翻訳の教育実践」

講師：幸重 美津子（学習院大学）

蔦田 和美（関西外国語大学短期大学部）

西山 幹枝（東京医療保健大学）

Tom Gally（東京大学）

【概要】

デジタルネイティブである現代の大学生の学習モチベーションを高め、社会における自律した英語ユーザーの育成を支援することを目的として、機械翻訳を活用した英語教育実践を紹介する。まず翻訳演習の指導やリーディング授業に AI 翻訳を導入した授業報告のあと、AI 翻訳教材を使用した指導例を対面授業・遠隔授業に分けて紹介する。その後オーディエンスと共に、短文や短いパラグラフを用いた翻訳作業を実践し AI 翻訳のコツと注意点を共有する。

基調講演

「簡易脳波計の現在地 —脳科学の知見を語彙指導にどう活用するか—」

講師：秋元 頼孝（長岡科学技術大学）

基調講演では、長岡技術科学大学の秋元頼孝先生にご登壇いただきます。今回のテーマは「脳科学の知見を語彙指導にどう活用するか」です。基礎研究で得た知見を授業実践でどう活かすのか。語彙習得を専門とする元小学校・中学校などで英語科目を担当してきた指定討論者の姉崎達夫先生（高崎健康福祉大学；元新潟県中学校教諭）と福田昇先生（松山大学；元群馬県小中学校教諭）からこれまで実践されていた語彙指導法の効果や問題をご紹介いただき、秋元先生に脳科学的に解説していただきます。

【講演要旨】

近年、比較的低価格で簡便に使用できる脳活動計測装置が登場したことにより、脳科学以外の分野でも脳活動の計測が盛んになりました。特に、人間の心のはたらきを明らかにしたい心理学者や、学習者の頭の中の状態を把握し教育に役立てたい教育実践者にとって、心のはたらきや頭の中の状態を直接的に測定できそうな脳活動計測は、魅力的です。

本講演では、簡易脳波計を用いて講演者が行った、英単語の記憶に関する基礎研究について、実験方法やその結果を紹介したいと思います。小規模研究室でも比較的簡便に使用できる簡易脳波計を利用することで、「脳活動計測技術を使って得た知見をどう英語学習に応用できるのか」という難しくも魅力的な問題について皆様と議論することができればと思います。

「語彙指導に活かす認知神経科学の知識」

ワークショップ				
開始	終了	Zoom 1		
10:00～		司会 河内 健志（高崎経済大学）		
10:00	12:00	ワークショップ 「AI 翻訳の教育実践」 講師：幸重 美津子（学習院大学） 蔦田 和美（関西外国語大学短期大学部） 西山 幹枝（東京医療保健大学） Tom Gally（東京大学）		
oVice ブース出展				
12:00～		ブース出展社：株式会社 教育測定研究所 株式会社 金星堂 株式会社 成美堂 チエル株式会社（50音順）		
開会式				
開始	終了	Zoom 1		
13:00～		総合司会 狩野 紀子（拓殖大学）		
13:00	13:15	開会の挨拶 LET 関東支部賞授賞式		
研究発表・実践報告				
開始	終了	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3
13:20～		司会 本沢 彩（関東学院大学）	司会 藤永 史尚（近畿大学）	司会 奥山 慶洋（白鷗大学）
13:20	13:50	①実践報告 Effects of Simple Automated Feedback on Summary Writing SPRING, Ryan (Tohoku University)	②研究発表 「英語スピーキング・テスト形式と英語熟達度との関係」 山内 豊 (創価大学)	③研究発表 A comparative corpus-based study of productive collocations between Japanese and Chinese learners of English FAN, Rong (Master's Program in Humanities, University of Tsukuba)

開始	終了	Zoom 1	Zoom 2	Zoom 3
13:55	14:05	賛助会員発表： 株式会社 金星堂	賛助会員発表： 株式会社 成美堂	賛助会員発表： チエル株式会社
14:10	14:40	④実践報告 Effects of Implementing a Multi-Modal Online Tool on an English Curriculum TAKEDA, Jessie (Tohoku University) SPRING, Ryan (Tohoku University)	⑤実践報告 「英語スピーキングにおけるファシリテーション技術に基づく協同的な活動の成果—WTC および学びに向かう姿勢について—」 大場 浩正 (上越教育大学) ●2021 年度 関東支部研究支援プログラム 中間報告	⑥実践報告 「小学校教員養成課程にクラスルームイングリッシュの動画学習を取り入れた実践報告」 船田 まなみ (白百合女子大学) 執行 智子 (東京未来大学) カレイラ松崎 順子 (東京経済大学) ●2020 年度 関東支部研究支援プログラム 最終報告
14:45	14:55	賛助会員発表： 株式会社 成美堂	賛助会員発表： チエル株式会社	賛助会員発表： 株式会社 金星堂
15:00	15:30	⑦実践報告 「医学部における英会話トレーニングのための人型ロボットとバーチャルリアリティの活用について」 坂本 洋子 (獨協医科大学) 坂田 信裕 (獨協医科大学) ●2019 年度 関東支部研究支援プログラム 最終報告	⑧実践報告 Flip: the way to improve students' communication skills SATO, Tomoe (Tokyo Denki University)	
基調講演				
開始	終了	Zoom 1		
15:40～		司会 高橋 栄作 (高崎経済大学)		
15:40	17:40	基調講演 「簡易脳波計の現在地—脳科学の知見を語彙指導にどう活用するか—」 講師：秋元 頼孝 (長岡科学技術大学) 指定討論者：姉崎 達夫 (高崎健康福祉大学) 福田 昇 (松山大学)		
閉会式				
17:40	17:45	閉会の挨拶		
17:45	18:15	発表予備枠		

株式会社 エル・インターフェース



世界にはばたく人材に英語の学びを通して伝えたいことがここに
大学向けオンライン教材★スーパー英語「Academic Express 3」

URL <https://www.supereigo.com/academic3/>

基礎的な英検レベルの学習から TOEFL/TOEIC/IELTS 対策まで対応



株式会社 成美堂

株式会社成美堂は 1955 年の創業以来、大学英語教科書専門の出版社として多くの先生方にご支持を
いただいております。近年では、現場のニーズにお応えすべく、デジタル教材や e-Learning 教材の
開発にも力を注いでおります。見本誌やデモアカウントをお気軽にお申しつけ下さい。

株式会社 教育測定研究所

日本で初めて IRT（項目応答理論）に基づいたコンピュータ適応型テストとして開発された、英語能
力測定テスト“CASEC”。解答の正誤に合わせて次の問題の難易度を変化、個人の能力を短いテスト時
間で正確且つ客観的に測定することが可能です。

詳細はこちらから <https://casec.evidus.com/>

チエル株式会社

英語 4 技能学習に特化し、バージョンアップにより多言語対応・Teams や Google workspace との
連携も強化したクラウド型の MALL システム CaLabo® MX オンライン授業や BYOD に対応した機
能を搭載。クラウド環境のペア会話をはじめ、録音した音声ファイルの課題管理や学習履歴管理も簡
単にできます。

今回の関東支部研究大会では「語彙指導に活かす認知神経科学の知識」をテーマとしました。基調講演
では、最初にご講演者の秋元頼孝先生から、簡易脳波計を用いた英単語の記憶に関する研究成果をご紹介
いただきます。その後、指定討論者である姉崎達夫先生と福田昇先生から、実践してきた語彙指導法と効
果についてお話をいただき、認知神経科学的な語彙学習に関してご議論いただく予定です。

参加者のみなさまにとって、より効果的な語彙学習指導を行うためのヒントが得られるのではないかと
思っています。

午前中のワークショップは、前回の大会テーマで扱った「機械翻訳を用いた英語学習とその指導」を実践するために企画されています。学習者が楽をするための機械翻訳利用ではなく、学習者が英語力を高めるための機械翻訳活用を指導できる方法を学び、ご自身の実践に結びつけていただくことを意図しています。

昼休みには、バーチャルコミュニケーション空間を提供する「oVice（オヴィス）」を使った賛助会員展示を行います。すでに昨年度から全国研究大会でも利用していますが、未体験の方は今回ぜひともご参加ください。oVice 空間内では、運営委員が待機していますので、気軽にお声がけください。

以上3点に加え、支部賞授賞式、個人・学生会員からのご発表、賛助会員からの新年度に向けた新情報提供があります。今回もオンラインでの開催となりますが、会員の皆さまにとって実りある交流の場となりましたら幸いです。

最後になりましたが、COVID-19の第8波とインフルエンザの流行が心配な時期ですので、くれぐれもご自愛ください。

2022年12月

外国語教育メディア学会
関東支部長 下山 幸成